

人文学の国際化と日本語

主催 言語・文学委員会 人文学の国際化と日本語分科会
共催 大学共同利用機関法人・人間文化研究機構

国立国語研究所
国文学研究資料館

日時 令和 2年7月19日(日) 13:00-16:30

会場 インターネットによる公開

使用言語：日本語

事前申込制(申込締切7月15日(水)・先着200名)

申込用URL <https://forms.gle/SUU4w4rm75cGvPzm6>

問合せ先 jinbungaku.nihongo@gmail.com

担当：竹本幹夫・窪菌晴夫

【プログラム】

13:00 開会挨拶 吉田 和彦(日本学術会議第一部会員・京都産業大学客員教授：言語学)

趣旨説明 竹本 幹夫(日本学術会議連携会員・早稲田大学名誉教授：日本文学)

13:10~14:40 セッションⅠ〈言語学分野を中心に〉 司会 吉田 和彦

13:10~13:25 「教育と可視性」 クリス・タンクレディ(慶應義塾大学教授：理論言語学)

13:25~13:40 「日本語学と国際化」 木部 暢子

(日本学術会議第一部会員・国立国語研究所教授：日本語学)

13:40~13:55 「日本語研究の国際化—国立国語研究所の取り組み」 窪菌 晴夫

(日本学術会議連携会員・国立国語研究所教授：言語学)

13:55~14:10 「人文学の国際化と中国語」 平田 昌司(日本学術会議連携会員：中国語学)

14:10~14:40 討論

14:40~14:50 (休憩)

14:50~16:20 セッションⅡ〈文学分野を中心に〉 司会 竹本 幹夫

14:50~15:05 「「昆虫文学」、その底なしの魅力」 メアリー・A・ナイトン

(青山学院大学教授：日米両文学)

15:05~15:20 「国文学者が英語で論文を書く日—国際化はなぜ必要なのか？」

沼野 充義

(日本学術会議連携会員・名古屋外国語大学副学長：ロシア文学・ポーランド文学)

15:20~15:35 「日英モダニズムの果実—福沢、野口、西脇—」 巽 孝之

(日本学術会議連携会員・慶應義塾大学教授：アメリカ文学)

15:35~15:50 “Concerning the Methods of Transcultural Academic Writing”

ロバート・キャンベル

(国文学研究資料館館長：日本文学)

15:50~16:20 討論

16:20~16:30 総括：司会 吉田・竹本

16:30 閉会